



とうか 桃花祭

Peach Flower Festival (Toka Festival)

往古、真清田神社の周囲は「松降荘青桃丘」とよばれ、桃の木が群生し神社の近くを木曾川の支流が流れていた。

参詣者は古来お祓いの力があると言い伝えられていた桃の小枝を切り取り、自分自身を祓い清めた後、木曾川支流に流したことから、桃花祭は除災招福の祭りとして伝えられている。真清田神社の大祭(例祭)として、かつて陰暦3月3日の桃の節句に行われていたが、明治43年(1910)、太陽暦の4月3日を大祭日とした。特殊神事として、4月1日の短冊祭、2日には歩射神事と試楽祭が行われる。大祭の3日には「御神輿渡御」や「流鏝馬神事」などの献馬行事がある。(真清田1丁目 真清田神社)



いわと 石刀祭(県指定無形民俗文化財)

Iwato Festival (Intangible Folk Cultural Property designated by Aichi Pref.)

県内では数少ない頭人の祭りである。市指定有形民俗文化財の山車3台が、笛・太鼓のお囃子にあわせて「からくり人形」を奉納する。現在、例祭の神事は毎年4月19日に行われ、これ以後の最初の日曜日に山車からくりと献馬が奉納される。

(今伊勢町馬寄 石刀神社)



ばしょう踊(県指定無形民俗文化財)

Basho Dancing (Intangible Folk Cultural Property designated by Aichi Pref.)

古くから、雨乞踊りの名称で伝えられ、芭蕉と呼ぶ指物状のものを背負い、太鼓を胸につけた武将を中心とし、鉦擦り、笛吹き、唄いで構成されている。芭蕉は、竹を12本に割り裂いて12ヶ月を意味させ、雨乞祈願の時は白、雨が叶った御礼踊りのときは5色の紙に取り替えられ、その1年の日数分を用意したといわれている。

(北方町北方 ばしょう踊保存会)



しばうま祭(県指定無形民俗文化財)

Shiba-uma Festival (Intangible Folk Cultural Property designated by Aichi Pref.)

チガヤを刈って芝馬を造り、これに縄をつけて子供たちが町内を引き廻し、悪事災難を免れ無病息災を願い、最後に水法川へ流す。(浅野 芝馬祭保存会)



あまざけ 甘酒祭(市指定無形民俗文化財)

Amazake (Sweet Wine) Festival (Intangible Folk Cultural Property designated by Ichinomiya City)

甘酒と強飯を氏神様にお供えし、豊作を祈願。そのお供えものを裸の年男が観光客に撒き散らす。(丹陽町重吉 重吉甘酒祭保存会)



みやうしろ すみやし 宮後住吉踊(市指定無形文化財)

Miyaushiro Sumiyoshi Dancing (Intangible Cultural Asset designated by Ichinomiya City)

大阪住吉神社の御田植神事の奉納舞として行われたのがその起源といわれる。伝承されている手踊りは7曲、段物(狂言舞踊)は4演目である。

(今伊勢町宮後 宮後住吉踊保存会)



木曾川堤の桜 Cherry blossoms along the Kisogawa River bank



大江川緑道の桜 Cherry blossoms along the Oegawa pedestrian path

一宮桜まつり Ichinomiya Cherry Blossom Festival

大江川緑道(大乘公園～須ヶ崎橋)、青木川河畔、浅井山公園、木曾川堤、稲荷公園、真清田神社、尾西緑道の桜を中心とした春のまつりである。大江川緑道の桜は、期間中ライトアップされ幻想的である。



一宮つつじ祭 Ichinomiya Azalea Festival

浅野公園内には約1,000株もの色とりどりのつつじが植栽され、4月下旬～5月初旬には見事な花を咲かせ、多くの観光客の目を楽しませてくれる。

(浅野)



花しょうぶ祭 Japanese Iris Festival

萬葉公園高松分園では38種類の花しょうぶが植栽され、5月～6月には見頃となる。

(萩原町高松)



尾西あじさいまつり Bisai Hydrangea Festival

御裳神社に咲き誇るあじさいの観賞ほか、抹茶の野点、民謡・詩舞・和太鼓など、アトラクションが行われる。

(三条)



もみじまつり Maple Festival

国登録有形文化財である旧林家住宅(尾西歴史民俗資料館別館)庭園で、美しい紅葉とともにさまざまな催事を楽しむことができる。

(起)



① ま す み だ 真清田神社 Masumida Shrine

「一宮」とは古く平安時代から既に用いられた名称である。国司がその国に赴いたとき、一番初めに参拝する神社を「一の宮」といった。真清田神社は尾張の国の「一の宮」であった。したがって、たいへん由緒も深く、信仰も厚い神社として広く知られている。御位をあらわす「一の宮」の名は、いつしか神社を中心として発達したこの地の地名として用いられるようになった。祭神天火明命あめのほあかりのみことは天照大神の孫にあたり、鏡造りの祖といわれ、また尾張人の遠祖とおつおやともいわれている。

祭神の母の萬幡豊秋津師比売命よろずはたとよあきつしひめのみことは織物の神として、同じ境内の服織神社はとりまつに祀られている。また、宝物館に展示されている神宝の内「舞楽面」12面は重要文化財に指定されているほか、県・市の文化財に指定されている宝物も数多くある。

(真清田1丁目)



宝物館
Homotsukan (Treasure Museum)



服織神社 Hatori Shrine



陵王面 (国重要文化財)
Ryo-o mask
(Important National Cultural Asset)



② 妙興寺 Myokoji Temple

妙興寺(長嶋山妙興報恩禅寺)は、貞和4年(1348)滅宗宗興を開山とする臨済宗妙心寺派の寺院である。伽藍は、貞治4年(1365)に完成したとされている。南北朝時代、尾張の北朝勢力の拠点として隆盛を極めた。



鬱蒼とした樹林に包まれた境内地は県指定史跡であるほか、「妙興寺文書」、「紙本著色足利義教像」、「絹本著色仏涅槃図」、「紙本著色豊太閤画像」をはじめ、多くの文化財を保有する。幾度かの災害により、多くの建造物が失われたが、国指定重要文化財の勅使門は創建当初来の姿を今日に至るまで伝えている。

当門には文和2年(1353)後光厳天皇より賜った勅額「国中無双禅刹」が掛かっている。(大和町妙興寺)

◀ 石庭(尼連禅河) Rock Garden



勅使門(国重要文化財)
Chokushi-mon Gate
(Important National Cultural Asset)



鐘楼(県指定史跡)
Belfry
(Historical Site designated by Aichi Pref.)

③ 大神神社

Omiwa Shrine

祭神は、三輪の神と呼ばれる大物主神。稲作豊穰、酒造り、疫病除け、縁結び等、生活全般の守護神である。

奈良県桜井市の大神神社と同名であり、大和系の先人が当地に移り住み、三輪の神を祀ったことに始まったと伝わる由緒ある神社。延長5年(927)に纏められた「延喜式神名帳」において、尾張国中島郡に「大神神社 名神大」と記されている。

神宝として、市指定文化財の木造狛犬1対、刀剣3振が市博物館に寄託されている。

(花池)



④ 禅林寺

Zenrinji Temple

寺伝によると、天禄元年(970)、尾張公藤原実頼の冥福を祈るため薬師如来を像造し、小野院極楽寺と号したのが始まりとされている。その後、大洪水により流失するが、明応6年(1497)、田園より薬師如来像が出現。領主の大願により修理される。大永5年(1525)に曹洞宗に改宗し、正保5年(1648)に仙境山禅林寺と改めて現在に至る。

東海四十九薬師霊場十二番札所であり、薬師堂内に国指定重要文化財の薬師如来坐像、日光・月光菩薩像、十二神将像を安置している。

(浅野)

⑤ 浅井古墳群(県指定史跡)

The Group of Azai Ancient Tombs
(Historical Treasures designated by Aichi Pref.)

この古墳群は、古来「四十塚」と呼ばれ、50基以上の古墳があった。県文化財に指定されているものは5基(愛宕塚古墳、岩塚古墳、毛無塚古墳、小塞神社古墳、桃塚古墳)で、いずれも古墳時代後期の築造と考えられる。出土品は、市博物館に展示されている。

(浅井町尾関)



岩塚古墳の石室と石棺

A burial mound and a sarcophagus of Iwatsuka old burial mound